

【科目名】物理学		【担当教員】藤本 聡							
【授業区分】 教養分野（自然科学）	【授業コード】 1-03-0110-0-2	(メールアドレス)							
【開講時期】1・2 年次 前期	【選択必修】選択	(オフィスアワー) 授業開講日、非常勤控室で対応							
【単位数】2 単位	【コマ数】15 コマ								
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) ・物理が苦手な人、高校で物理を学ばなかった人に合わせて授業を行う。 (受講のルールに関わる情報・予備知識) ・随時レポート提出を行うため、提出期限を守ること。									
【講義概要】 (目的) リハビリテーションに関連する物理学を学ぶことを目的にする。高校で物理学を学ぶ機会がなかった学生や苦手だった学生が、リハビリテーションに必要な物理学の基礎を学ぶ。 (方法) 教科書と配布資料などによる講義と演習を行う。									
【一般教育目標(GIO)】 ・リハビリテーションに必要な物理学の基礎を学ぶ。 【行動目標(SBO)】 ・リハビリテーションに関連する物理学を学び、今後の学習や職場で活用する。									
【教科書・リザーブドブック】 ・江原義弘、山本澄子、中川昭夫・『【PT】【OT】【PO】身体運動の理解につなげる物理学』南江堂、2015年。¥2800									
【参考書】 ・資料を配布する。									
【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法) 成績評価基準は本学学則規定の GAP 制度に従う テストと出席率による総合評価									
【達成度評価】		試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合		40		50			10		100
評価指標	取り込む力・知識	40		25					65
	思考・推論・創造の力			25					25
	コラボレーションとリーダーシップ								
	発表力								
	学修に取り組む姿勢						10		10

平成 26-28 年度以降入学者用

【授業日程と内容】				
回数	講義内容	授業の運営 方法	学修課題(予習・復習)	時間(分)
1	なぜ物理が必要か バネの伸びと力の合成	講義 講義、演習	授業中に演習を行い理解 する	10 80
2	テコの原理と第一のテコ	講義、演習	授業中に演習を行い理解 する	90
3	第2のテコ・第3のテコ	講義、演習	授業中に演習を行い理解 する	90
4	輪じく・滑車・歯車	講義、演習	授業中に演習を行い理解 する	90
5	生体の中のテコ	講義、演習	授業中に演習を行い理解 する	90
6	下肢に存在するテコ	講義、演習	授業中に演習を行い理解 する	90
7	作用・反作用, 力の分解, 斜面, 振り子, 摩擦力	講義、演習	授業中に演習を行い理解 する	90
8	物体の位置と座標系	講義、演習	授業中に演習を行い理解 する	90
9	物体の速度と座標系	講義、演習	授業中に演習を行い理解 する	90
10	物体の速度と加速度	講義、演習	授業中に演習を行い理解 する	90
11	力と加速度	講義、演習	授業中に演習を行い理解 する	90
12	力学的仕事とエネルギー	講義、演習	授業中に演習を行い理解 する	90
13	浮力と水の圧力	講義、演習	授業中に演習を行い理解 する	90
14	電気回路	講義、演習	授業中に演習を行い理解 する	90
15	波・音・熱・光・電波	講義、演習	授業中に演習を行い理解 する	90

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の3倍)に含むべき時間を示します。